

## 平成24年度 第1回燕市防災会議 記録（概要）

開催日時 平成24年7月30日（月）午前10時00分  
開催場所 燕市中央公民館 中ホール  
出欠席者 別紙を参照  
事務局 (防災課) 幸田課長、五十嵐副参事、渡邊主任、宮野主事  
(総務課) 石田課長補佐、高山主任

### 1. 開 会（防災課長）

—10：00—

### 2. 会長あいさつ（燕市長）

#### 【要旨】

平成24年第1回防災会議のご案内を申し上げたところ、各委員の皆様方におかれましては、お忙しい中、また暑い中会議に出席いただき感謝している。

昨日、二年ぶりに復活した相馬野馬追に招待され、南相馬市に行ってきた。

南相馬市へ行く際には飯館村を通るが、飯館村はホットスポットのため住民が住めない状況であり、空き家、田畑が荒れ放題で、改めて災害の深刻さを認識した。

実際、南相馬市役所に行き、議長さんから「色んな問題が方々山積している。時間の経過と共に新たな問題も出てきている。」という話を聞き、改めて災害が起きた時の対応、その後の対応の重要性を再認識させられた。

今日の防災会議は、最近の災害の状況を踏まえて、これまでの燕市防災計画に修正見直しが必要だということで、皆さんからのご意見を頂戴するため開催させていただいた。

ここ数年、防災会議を開かなかつたため、この1、2年の色んな変化、状況を踏まえて、これから何の準備をしていったら良いか、意見を頂戴したいと思っている。

今回から女性委員に数名入っていただき、今までの課題であった女性の視点からの防災計画の見直しということも重要なテーマであると思う。ぜひ女性委員の方からそういった視点で意見をいただければと思っている。

いずれにしても、非常に広範囲にわたる課題があると思っており、できあがっているものではなく、作るプロセスあるいはできあがった後も状況に応じて修正していく柔軟性が災害において求められる。災害に同じ顔はなく、常に新たな顔を持って災害があるのだと、言われている。その都度、柔軟に対応していくことが一番大切で、そういった意味で、今日の会議で皆さんからの忌憚ない意見をいただき、少しずつ内容の立案を計っていきたいと思っている。

### 3. 燕市防災会議に関する説明（防災課長）

#### 【要旨】

燕市防災会議は「燕市防災会議条例」及び「燕市防災会議運営規程」に基づいて設置され、現在43名の防災会議委員で構成されている。

設置目的は「燕市地域防災計画を作成し、及びその実施を推進すること」であり、その地域防災計画は、災害対策基本法第42条において、「市町村防災会議は、〔中略〕地域防災計画を作成し、及び毎年市町村地域防災計画に検討を加え、必要があると認めるときは、これを修正しなければならない。」とされているが、平成19年4月以来修正を行っておらず、防災会議も「燕市洪水・土砂災害ハザードマップ」の作成を審議した平成19年度以来、開催していなかった。

今後は見直しを毎年継続して実施し、年1回以上の防災会議の開催を約束させていただくので、委員の皆様のご意見やご要望をいただき、燕市の防災対策に反映にさせていただきます。

ただ、今回の計画見直しは、この5年間で積み残してきた事案が多岐にわたることから、重要度に応じて手がけられるところから先行して見直していく方針とし、カバーできない部分は次年度以降の見直し時に盛り込みたいので、ご了解をいただきたい。

### 4. 委員紹介

### 5. 議事（議長は会長＝燕市長）

－10：11－

#### （1）燕市地域防災計画の修正について【資料1】

##### 【質疑・意見】

○委員 これだけの計画を見直すのは膨大な作業になるが、優先順位を付けて大切なものから取りかかってほしい。我々も協力したい。市民の安全のために頑張ってもらいたい。

○会長 計画は大事だが、本（計画書）を見て動くのではなく体で覚えて、何かあればすぐに動けるようであればならない。素案ができたなら試してみる、と言うやり方で進めていくのが良い。各団体の皆さんへも意見照会をかけ、また避難訓練等に参画いただく中で意見をもらいたい。

○委員 会議に参加してみて、高齢者の見守り等、民生委員としての活動面でお手伝いができるのがうれしい。BSN デジタル放送を見て安心できる良い防災施策だと思い、市民の皆さんにお知らせしている。我々も防災会議委員として広めていくべき。市も、重ねて発信し、皆さんが分かるようにしてほしい。

◆事務局 広報のほかイベントなどの機会あるごとに周知をしていきたい。

○委員 我々は災害時に真っ先に現場に駆けつけ、そこで市民から「こうすればもっと効率的な対応ができる」といった声をきくことがある。それが防災担当者に届いていないのは残念だ。我々消防団もひるまず活動はするので、市もこうした市民の声を拾っていけるシステムの構築をお願いしたい。

◆事務局 消防本部・消防団と意見交換をして行ければ良いと考えている。

○会長 市長として防災課に対して、「いろんな団体の集まりに行って懇談する機会を作り、意見収集をなさい」と指示しているところでもある。防災課は何かしら会合に参加し、生の声を聴く機会を作してほしい。

(2) 平成23年度の燕市における災害の対応について【資料2】 -10:42-

(3) 東日本大震災における燕市の対応について【資料3】

【一括質疑】 質疑なし。

(4) 平成23年度の燕市の防災の取組みについて【資料4】 -10:56-

(5) 平成24年度防災事業予定(案)について【資料5】

○委員(燕三条エフエム放送(株)局長代理) 我が社が委員名簿に載っていることについての説明も兼ねてここで発言をしたい。

配布したパンフレットにある「まさか…の時に安心を」とロゴを変えてやっているように、防災時などでの市への協力のため、番組の生放送で高齢者などに76.8メガヘルツを広めていくキャンペーンを推進している。

## (6) その他

◆事務局 次の委員のそれぞれ任期切れ前に、再委嘱をお願いする旨を依頼した。

①燕市防災会議委員中、第7号委員の任期は2年で、平成24年11月27日までであることから11月に依頼する。

②本会議委員中に「燕市国民保護協議会委員」に委嘱されている方がおり、その任期が8月28日までであることから8月に依頼する。

また今後、各団体機関に、計画修正に係る問合せをさせてもらうが、単に文書のやり取りだけでなく、連携を密に行きたいのでよろしくお願いしたい旨も依頼した。

## 6. 閉会(防災課長)

-11:15-